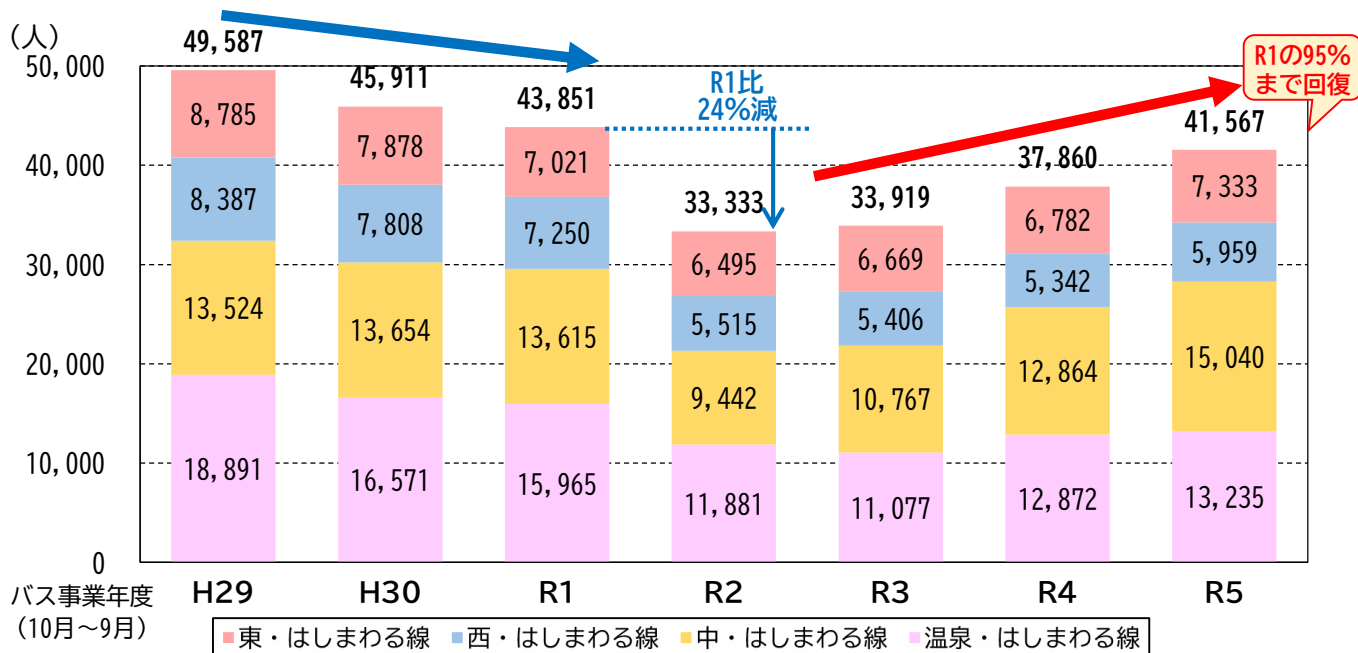


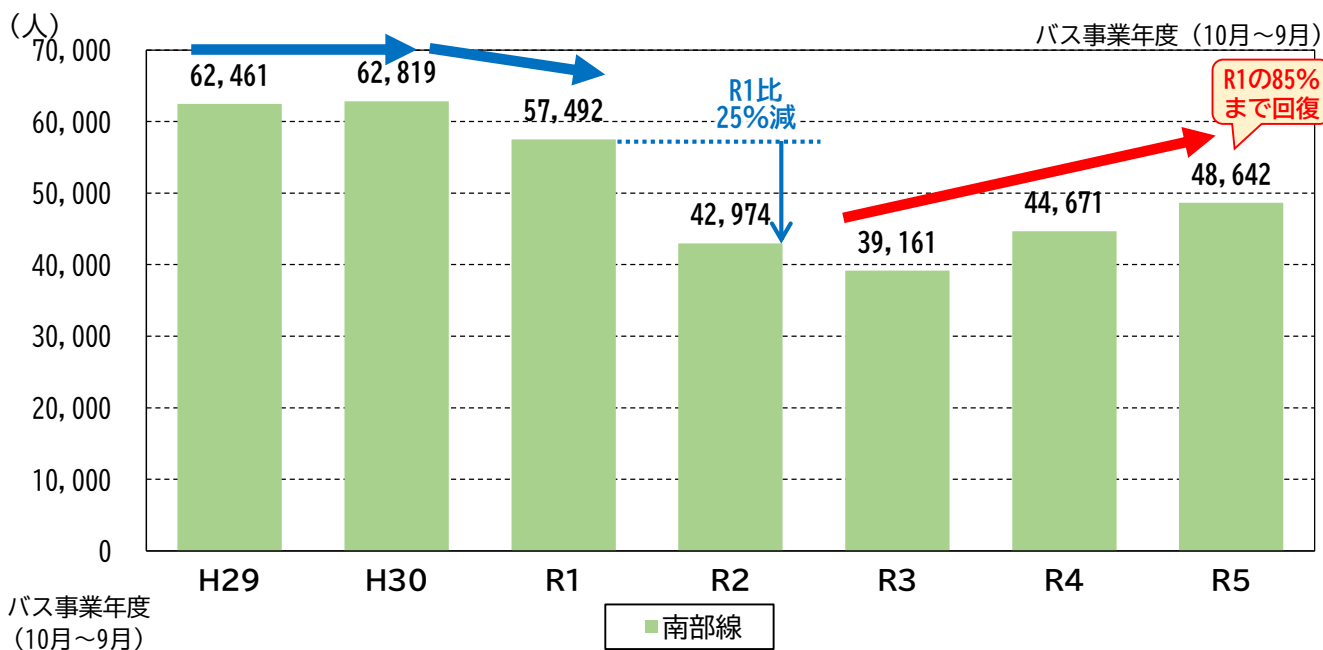
はしまわる線

- 平成29年度～令和元年度の利用者数の推移をみると、全体として減少傾向にある。
- 令和2年度以降のコロナ禍の影響を令和元年度比でみると、令和2年度に利用者数が24%減と大きく落ち込んだが、令和4年度は令和元年度の95%まで回復している。
- 東・はしまわる線と中・はしまわる線は、利用者数が令和元年度の人数を上回っている。



南部線

- 平成29年度～令和元年度の利用者数の推移をみると、平成30年度までは横ばいで推移していたが、その後減少傾向となっている。
- 令和2年度以降のコロナ禍の影響を令和元年度比でみると、令和2年度に利用者数が25%減と大きく落ち込んだが、令和5年度は令和元年度の85%まで回復している。

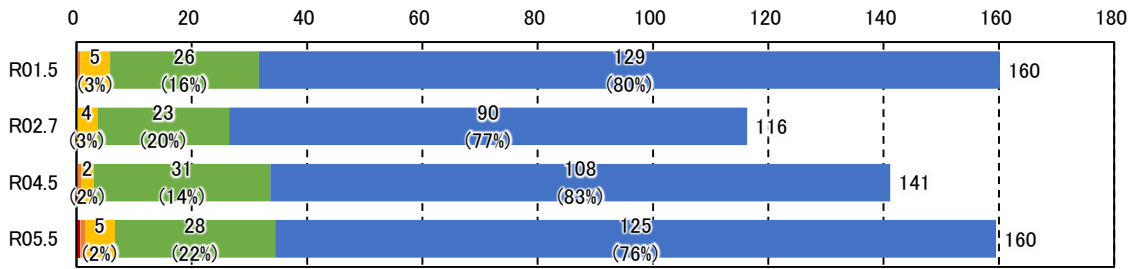


# 乗降等調査の結果について

## はしまわる線 属性別利用者数の比較

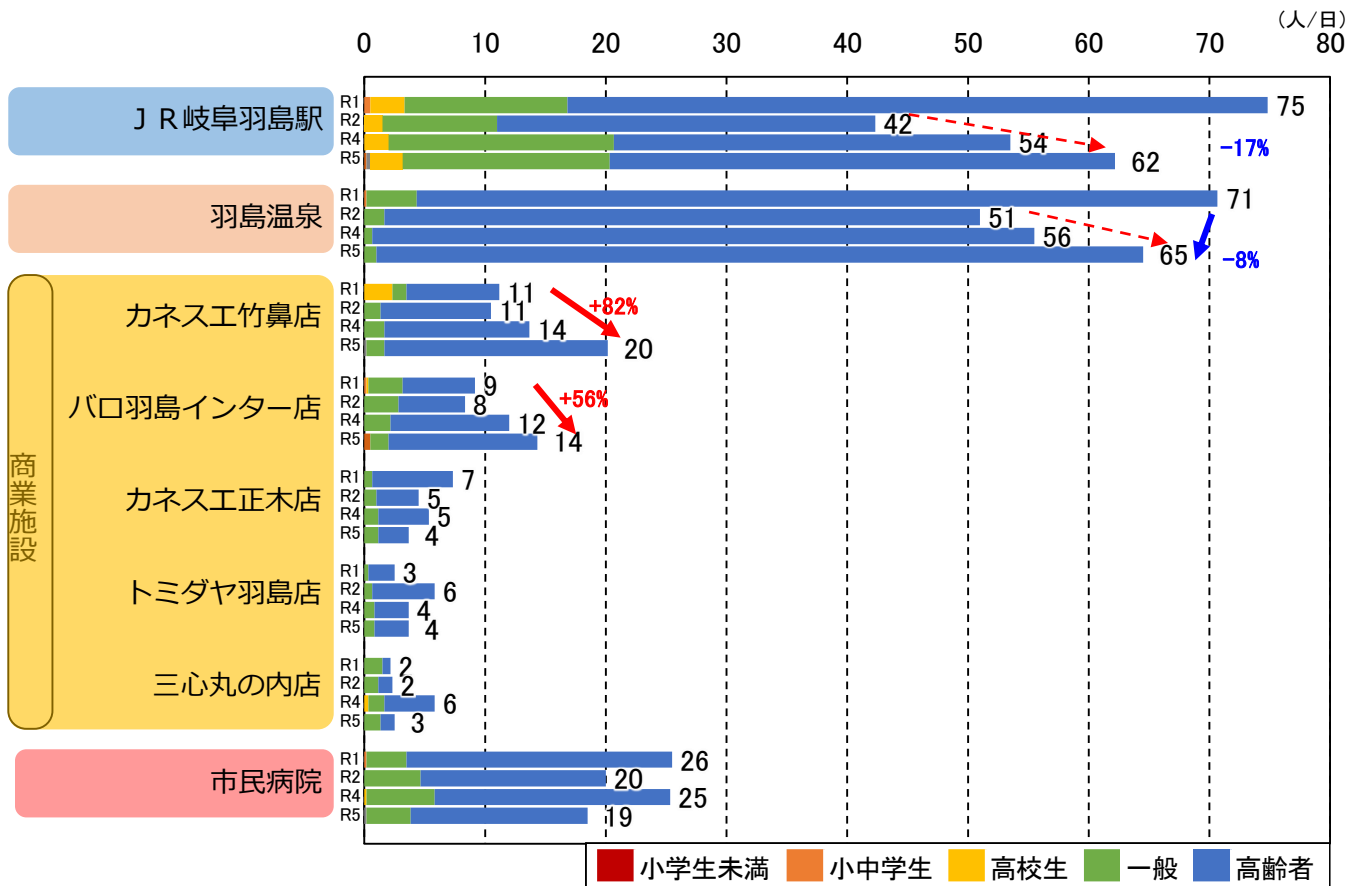


- 全体に占める割合の大きい**高齢者の利用**が、令和2年度に約70%に落ち込んでいたが、令和5年度にはほぼ令和元年度の水準まで**回復**している。



## はしまわる線 バス停別乗降者数の比較

- JR岐阜羽島駅：令和5年度は令和元年度比83%まで回復。
- 羽島温泉：コロナ禍以降回復が鈍かったが、令和5年度は令和元年度比**92%まで回復**。
- 商業施設：利用者数の多いカネスエ竹鼻店、バロー羽島インター店は、**コロナ禍前の水準を超えて増加**。
- 市民病院：令和4年度は**概ねコロナ禍前の水準まで回復**したものの、令和5年度は減少。

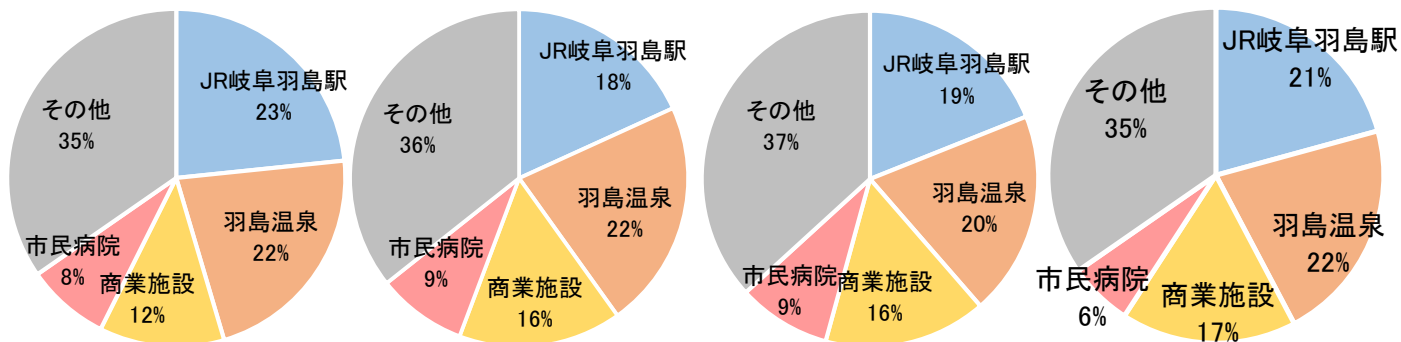


### 令和元年5月調査

### 令和2年7月調査

### 令和4年5月調査

### 令和5年5月調査



# はしまわる線 便別利用者数の比較 平日

- 令和2年度は、全体的に減少する中、特に中・はしまわる線、温泉・はしまわる線の午後の便の減少が大きかった。
- 令和5年度は以下のとおりとなっている。

**東・はしまわる線** : 令和元年度の水準まで回復し、特に朝の便の増加が顕著  
(高校生(特別支援学校)の利用が回復)

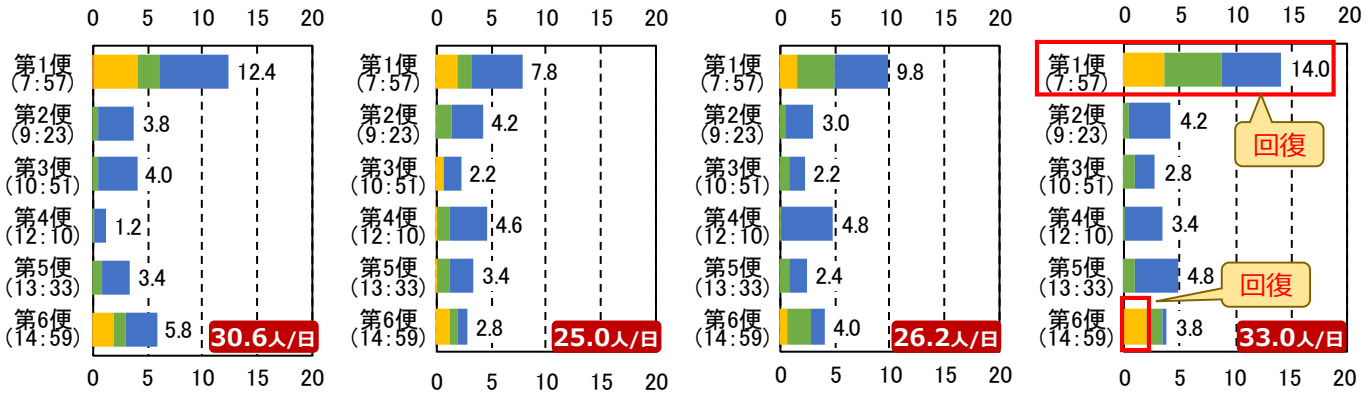
**西・はしまわる線** : 令和2年度に大きく落ち込んで以降、あまり回復がみられない

**中・はしまわる線** : 羽島温泉を目的とした利用の多い第1~4便が回復し、全体として令和元年度の水準を超えるまでの大幅な増加傾向

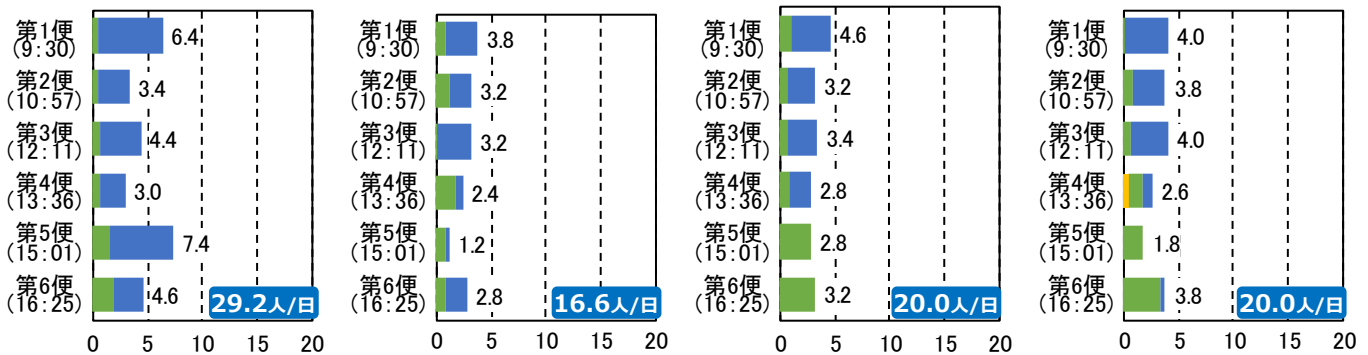
**温泉・はしまわる線** : 羽島温泉を目的とした利用の多い第1~3便が増加する一方で、第4~6便は回復せず、全体として緩やかな増加傾向

令和元年5月調査 → 
 令和2年7月調査 → 
 令和4年5月調査 → 
 令和5年5月調査

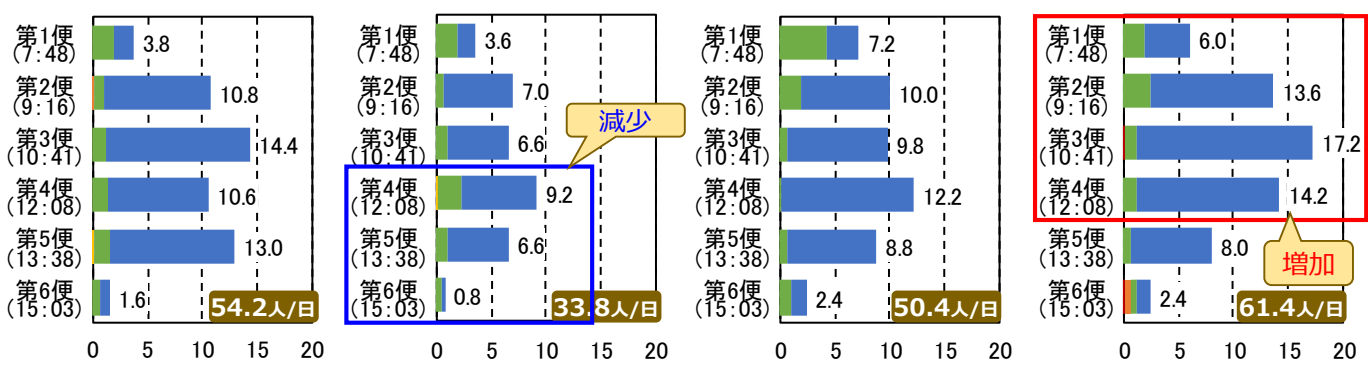
東・はしまわる線



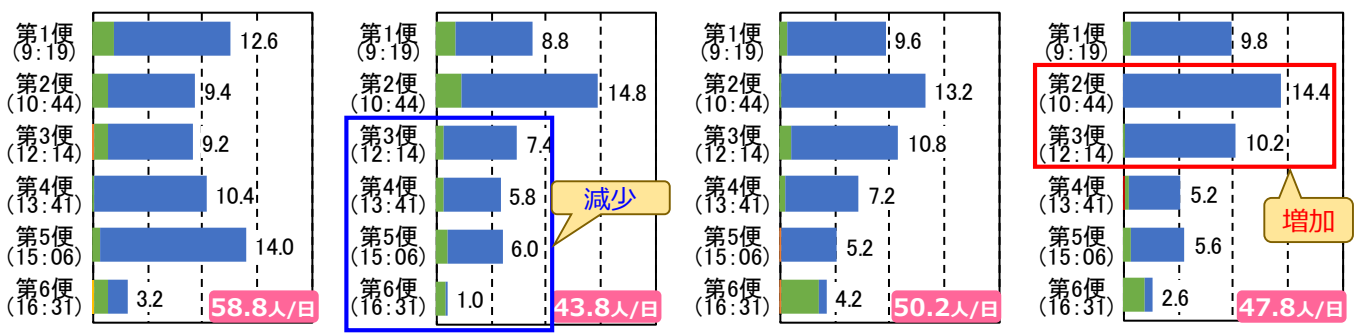
西・はしまわる線



中・はしまわる線



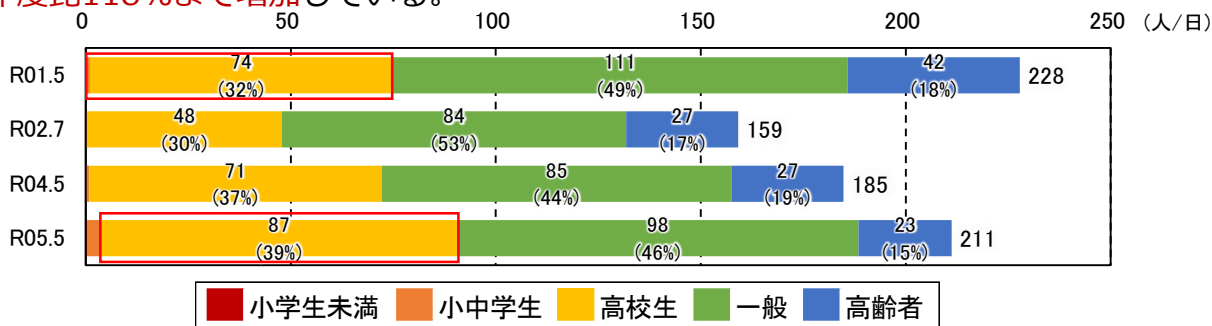
温泉・はしまわる線



■ 小学生未満 
 ■ 小中学生 
 ■ 高校生 
 ■ 一般 
 ■ 高齢者

## 南部線 属性別利用者数の比較

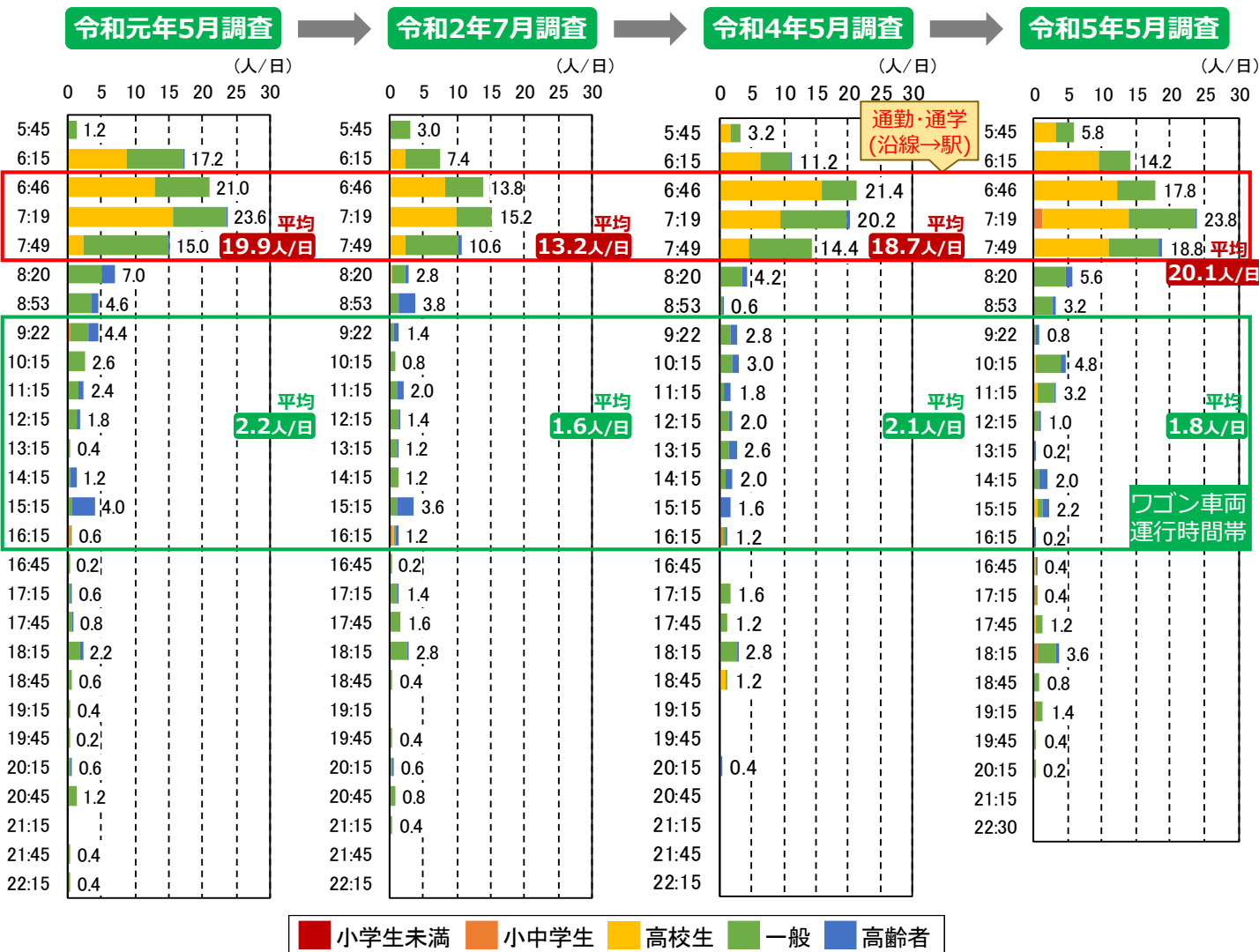
- 令和5年5月は、令和元年5月の9割程度まで回復している。
- 高校生の利用が、令和2年度には令和元年度比で64%まで減少したが、令和5年度は令和元年度比118%まで増加している。



## 南部線 便別利用者数の比較

- 平日は通勤・通学利用が多く、朝は羽島市役所前駅行き、夕方から夜間は大須行きの利用者が多くなっている。
- 令和5年度の利用者数をみると、朝の便は令和元年度の水準まで回復しており、夕方の便は回復傾向にある。
- 昼の便（ワゴン車両運行便）の利用者数は、羽島市役所前駅行き・大須行きともにやや減少傾向にある。

### 平日 羽島市役所前駅行き



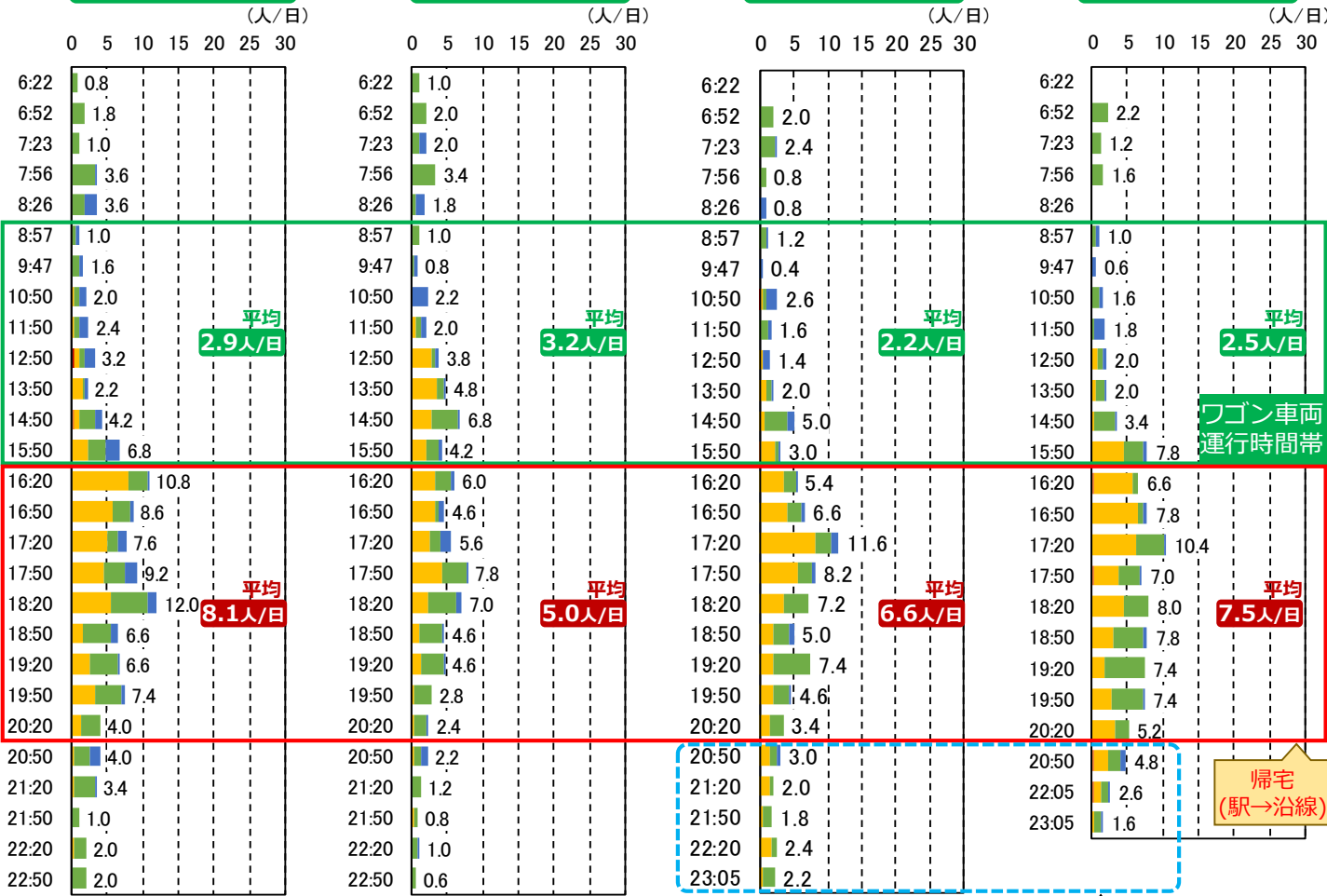
平日 大須行き

令和元年5月調査

令和2年7月調査

令和4年5月調査

令和5年5月調査



小学生未満 小中学生 高校生 一般 高齢者

夜間（羽島市役所前駅20:50発以降）の各便において、一定の高校生の利用がみられる

帰宅 (駅→沿線)

ワゴン車両 運行時間帯

平均 2.9人/日

平均 3.2人/日

平均 2.2人/日

平均 2.5人/日

平均 8.1人/日

平均 5.0人/日

平均 6.6人/日

平均 7.5人/日